

お客様へのお願い

⚠ 保守・点検のお願い

建築金物は、ステンレス・亜鉛ダイカスト・鉄等の各種金属を使用しており、それぞれに適した防錆処理を施していますが、長期間に渡り塵埃が付着したままの状態では化学反応によりサビが発生します。

- ステンレスはサビないと思われがちですが、鉄の素材がクロムのごく薄い保護皮膜でおおわれております。塩害区での使用や・二次的な加工等によりサビが発生する場合がありますので「サビにくい」ものとご理解ください。長期に渡りご使用いただくためにも、以下のお手入れをお願いいたします。
- 金物表面は、乾いた柔らかな布で適宜清掃してください。汚れのひどい場合には中性洗剤拭き→水拭き→空拭きを行ってください。（注：拭き掃除において薬品は使用しないでください）
- 海岸地帯では潮風に含まれる塩分、鉄道線路の近くではレールの摩耗等により飛散する鉄分、また、高速道路・空港周辺では空気中に含まれる亜硫酸ガスの影響を受けますので、汚れたらすぐに拭き、サビが生じないようにご注意ください。
- 金物の取付けねじが緩んでいないことを確認してください。緩んでいた場合には、締め直してください。ねじが緩んだままでの使用は、故障や、破損または、ケガの原因となることがあります。
- ツボやトロカバーには塵埃が溜まりますので、適宜清掃してください。
- 摺動部には、時々注油してください。
- 6バーヒンジや通風換気口金具等には塵埃が溜まりますので、時々清掃してください。
- クレセントやハンドル等の摺動箇所に適宜注油してください。

⚠ ご使用上のお願い

- 製品には、通常のご使用以外の過度な力が加わらないように十分注意してください。製品に物をぶつけること、ぶら下がること、製品を踏み台や物掛け代わり等に使用しないでください。
- 郵便差入口の外部側より奥深くまで指や手を差し込まないでください。内部に何があるか分からないので、予期せぬ事故を生じるかもしれません。
- ロッド棒がドアから出た状態で扉の開閉を行ったり、フランス落しのレバーが出たままの状態では扉を閉めないでください。
- 6バーヒンジに触らないでください。アームに指や手が挟まりケガをする恐れがあります。
- クレセントやハンドル等を施錠した状態で窓を閉めないでください。
- 窓の開閉時、手や指をはさまないように注意してください。
- 窓の開閉操作はゆっくり行ってください。急激な操作は思わぬケガや事故につながります。

ヒンジ

フランス落し
角・丸落しグレモン
シリーズアーム
アームストッパー取手
引手
戸車点検口
シリーズ引戸
システム
引きどーる

エントランス

ラバトリー

引違い窓

開き窓

内・外
倒し窓
突出し窓

上げ下げ窓

通風換気
口金具その他の
金物